

南関町庁舎等建設現場レポート第1弾

現在、令和3年12月末の完成、1月からの供用開始に向け、南関町庁舎等建設工事を行っています。
今回は、現場レポート第1弾としてこれまでの工事の進捗状況を報告します。町公式ホームページにも進捗状況を掲載していますのでぜひご覧ください。

■ 旧校舎内装材撤去工事 ■



旧校舎の一部解体工事に先立ち内装材を撤去しました。事務室内は新しい内装になりますが、柱や壁はそのまま残り、一部黒板も残しますので教室の名残りが感じられるかもしれません。

■ 旧校舎一部解体工事 ■



新しい増築棟と旧校舎を利用する改築棟の繋がりを維持するため、旧校舎の保健室部分など、一部解体工事を行いました。

■ 地盤改良工事 ■



木造2階建ての増築棟建設のため、地盤改良杭(174本)を打ち込む工事を行いました。



▶放水訓練をする新入団員

新入団員18人に辞令

南関町消防団

南関町消防団(大里義明団長)は4月11日、令和3年度南関町消防団辞令交付式をB&G海洋センターで開催し、部長17人、新入団員18人に辞令を交付しました。

新入団員を代表して、第一分団2部の岡本航希さんが「消防団員として、火災などの災害から住民の生命身体および財産を守り、また、一人ひとりが責務を認識し、常に自ら進んで訓練や、消防業務全般について研さんし、その使命達成に努めることを誓います」と宣誓しました。

その後、新入団員は南関分署署員から規律訓練や放水訓練などの指導を受け、真剣な表情で取り組んでいました。

安全安心のために役立てて

町商工会青年部が誘導灯30本を寄付

住民の安全安心な生活に役立ててもらおうと、町商工会青年部部長の永松隼也さん(肥猪)と副部長の川上元気さん(高久野)は3月17日、佐藤町長を訪問し誘導灯30本を寄付しました。永松部長は「昨年は災害が多かった。地域の人たちが安全に避難できるよう役立ててほしい」と伝え、誘導灯を贈りました。

受け取った佐藤町長は「皆さんの安全安心につながるよう災害対策だけでなく、小中学校にも配布し子どもたちの交通指導のためにも有効に使ってほしい」とお礼を述べました。



▶誘導灯を届けた永松部長(中央)と川上副部長(左)



▶決定通知書を持ち、笑顔の近藤先生

理科教育の充実をめざす

理科専科教員 近藤先生

全国小・中・高校などの先生へ、学校教育の発展につながる研究を助成する、公益財団法人下中記念財団の「令和2年度下中化学研究助成金」に第三小学校の近藤祐樹先生が選ばれ、研究費が贈られました。

近藤先生は三小を拠点に、町内の4つの小学校で5、6年生の理科を担当。複数校で指導することで授業内容にばらつきがでにくいことや教員の負担軽減がはかれることなどをまとめ、同助成金を申請しました。

近藤先生は「子どもたちに、理科を楽しいと思ってほしい」と笑顔で話しました。この研究費は、小学校で理科教育のために使われます。

1年間の集大成を発表

地域おこし協力隊 岩下小太郎さん

町地域おこし協力隊として活動している岩下小太郎さん(関町)が3月11日、活動報告を行い、これまで取り組んできた活動内容と、今後の展開について発表し、佐藤町長や町議会議員、町関係者が出席しました。

岩下さんは南関町に来るきっかけやSNSを活用した情報発信活動を発表し、最後に得意の肥後琵琶を披露。「六根清浄」を演奏し、出席者たちは琵琶の独創的な音色と節回しに聴き入っていました。

岩下さんは「南関町を多くの人に知ってもらえるよう、情報の発信を続けたい」と話しました。



▶報告をする岩下隊員



▶左から玉東町前田町長、玉名市蔵原市長、和木町高巢町長、南関町佐藤町長

消費者を守る

消費者行政に関する協定を締結

3月23日、玉名市、玉東町、和木町、南関町の1市3町における「消費者行政に関する協定」を締結しました。

この協定の締結で、これまでの町の消費者相談窓口への相談以外に、専門相談員がいる玉名市消費生活センターへの相談もできるようになりました。

また、消費者トラブルの未然防止に向けて、啓発活動等にも連携して取り組んでいきます。

消費者トラブルに関する相談がある場合は下記窓口へご連絡ください。

- 南関町消費者相談窓口 ☎57-8500
- 玉名市消費生活センター ☎75-1422

関川流域の安全安心の確保のために

関川復旧事業始まる

令和2年7月豪雨で被害を受けた関川の災害復旧助成事業の着工式が3月27日、荒尾市上井手の岩本橋駐車場で行われました。

災害復旧助成事業では、南関町から荒尾市までの20.4キロメートルの区間で、堤防のかさ上げや川床の掘削工事を行い、現状復旧だけでなく、災害を防止する改良も行われます。

着工式では主催者を代表し、熊本県の田嶋徹副知事が「流域に住んでいる皆さんの安全安心の確保に全力を尽くしたい」とあいさつしました。

佐藤町長は「関川は自然の恵みと癒しを与えてくれるが、豪雨が発生するたびに被害を受けていた。この工事は町としても大いに期待している」と述べました。



▶式典の様子